



# 東中だより

夢を追え、自らを高めよ  
—学べ・磨け・輝け—

## 12月号

さいたま市立東浦和中学校

〒336-0932 さいたま市緑区中尾 1207-1

☎ 048-873-4141

令和5年11月30日 発行

## 教 育

校 長 石 崎 敬 吾

12月に入ります。いよいよ2023年も残すところ、1か月です。吐く息も白くなり、寒い日が増えてきました。今年は夏から暑い日が続き、秋らしさを感じられぬまま、夏から冬へと季節が移り変わったようにさえ感じます。室内と室外の温度差が激しくなる冬の季節は、喘息の持病のある私にとって、辛抱の時期でもあります。良薬が開発された今では、大きな発作が起こることはなくなりましたが、体はやはり違和感を感じるらしく、なかなか爽快とはいきません。12月22日の終業式の日が冬至だということですので、かぼちゃを食べ、ゆず湯につかり、一層寒さの厳しくなる日々に備えようと思います。

さて、2023年は皆様にとって、どのような年だったでしょうか。この時期になると、今年の〇大ニュースといったことが話題として取り上げられ、テレビ番組等も見かけるようになります。私の今年最大のニュースは、何といても初めて中学校で勤務することになったことです。中学生の頃から中学校の教員を目指してきましたが、縁あって小学校の教員となり、以来30年近く小学校で勤務してきました。そして、これまたご縁があり、中学校で校長を務めることとなりました。人事異動提示（内示）を受けたときは、さすがに一瞬凍り付きました。生涯忘れることのない衝撃です。勤務地の異動は、何度経験しても緊張するものですが、今回は一層強く感じ、4月3日、不安8、期待2くらいの気持ちで着任しました。しかし、東中生、保護者、地域の皆様、そして教職員に恵まれたことが何よりも嬉しい出来事となっています。その他にも、USJ事件？（9月号）など、振り返れば様々なことがありましたが、私の大切な思い出となる貴重な1年になりました。

皆様も、きっといろいろな出来事のあった1年ではなかったでしょうか。

11月27日（月）に第2回東浦和中学校 学校運営協議会が開催され、学校運営について、報告及び協議をしました。今回は、「熟議」と呼ばれる話合いに生徒会本部役員7名も参加してもらいました。学校運営協議会では、学校・家庭・地域が一体となり、次世代を担う子どもたちを育成するための方策等を協議するのですが、対象となっている生徒自身はどのようなことを思い、考えているのか知る必要があると考えたからです。四つのグループに分かれ、「地域と共に東中生ができること」をテーマにそれぞれが意見を出し合いました。詳細は、「東中・コミュニティスクールだより」に任せるとして、委員の皆様からは、東中生がしっかりと自分の意見を述べていたことを高く評価していただきました。

教育は、「教え育てる」のではなく、「育ち方を教える」ことであると考えます。生徒が自ら育ち、高めていける方策を協議会で知恵を出し合いたいと思うのです。